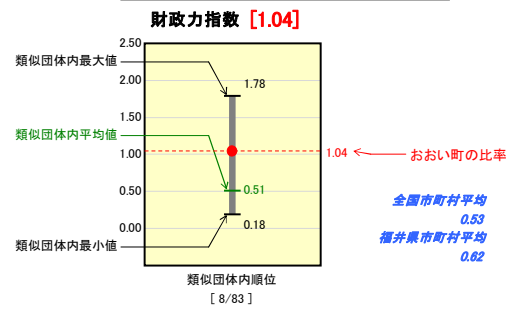


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

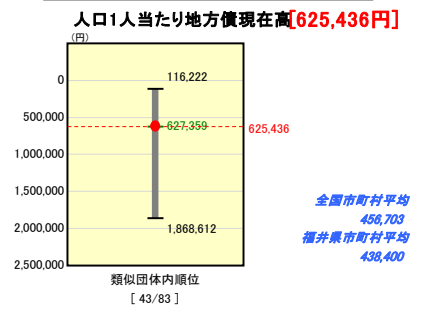
福井県 おおい町

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 人口 | 9,046 | 人(H19.3.31現在) |
| 面積 | 212.21 | km ² |
| 歳入総額 | 12,597,042 | 千円 |
| 歳出総額 | 11,688,163 | 千円 |
| 歳入総額 | 833.479 | 千円 |

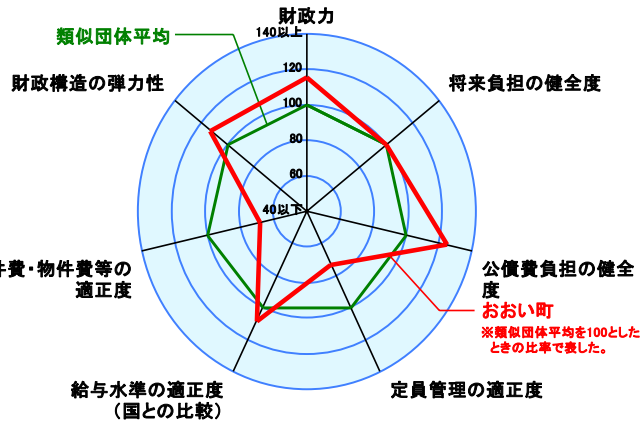
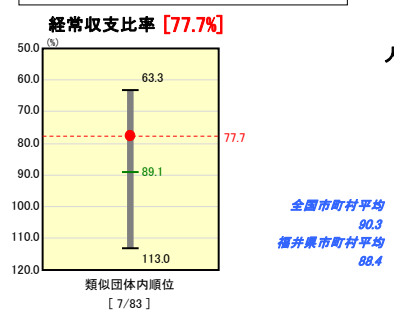
財政力



将来負担の健全度

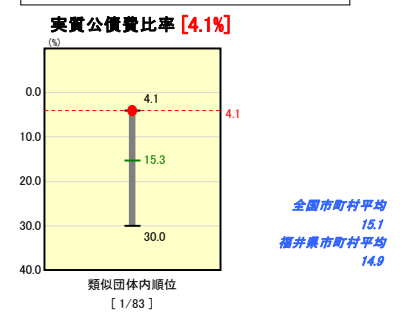


財政構造の弾力性

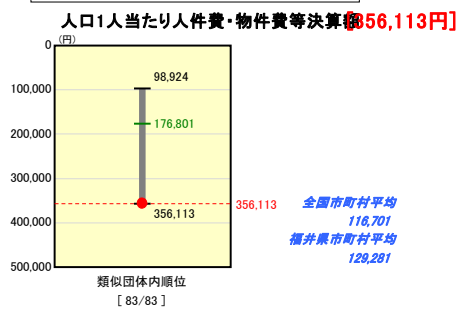


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費負担の健全度

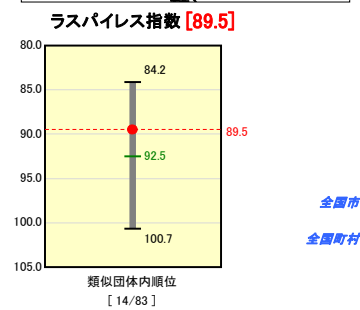


人員費・物件費等の適正度

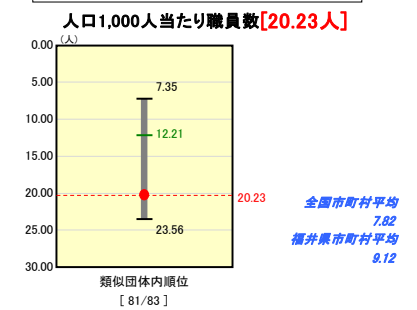


※人員費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

給与水準の適正度 (国との比)



定員管理の適正度



分析概

※平成18年3月3日に、旧大飯町と旧名田庄村の合併により、おおい町となった。

- 財政力指数**
原子力発電所立地により類似団体平均を上回る税収があるため1.04となっているが、今後大規模償却資産に対する固定資産税が年々課税していくことから、歳出面においても、行政の効率化に取り組み財政基盤の強化を図っていく。
- 経常収支比率**
原子力発電所立地という特殊な立場から健全財政を維持しているというものの町税、普通交付税は年々減少傾向にあり、また、現在整備を進めているマリンワールド、高速通信網等の維持経費がさらに増加することが予想され、経常収支比率が増加することが予想される。今後は、事務事業の取捨選択等の見直しを進め、経常経費の削減に努めていく。
- 人口1人当たり人員費・物件費等決算額**
類似団体に比べ著しく高くなっているのは、主に物件費が要因であり、特に公共施設の維持管理業務委託料が大きなウエイトを占めている。また、人員費についても職員数が類似団体の数値を上回っているために引き上げの要因となっている。経常経費の削減と、適正な定員管理により経費の抑制に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高**
低額類似団体の平均値となっている。今後とも後年度負担を十分に考慮し、新規発行においてはできる限り交付税措置等の有利な地方債のみとし、新規発行の抑制に努め適正水準の確保に努める。
- 実質公債費比率**
類似団体内においてはトップの4.1%という低い数値となっている。今後とも起債に大きく頼ることなく有利な起債のみに絞るなど、権力新規発行の抑制に努めていく。
- ラスパイレス指数**
類似団体平均を3.0ポイント下回り、全国町村平均においては4.4ポイント下回っている。国家公務員の給与に準拠して、今後とも給与の適正化に努めていく。
- 人口1,000人当たり職員数**
類似団体内において高位(比率が高い)にある。平成18年3月の町村合併によることが主な要因であると考え、事務事業の民間委託の推進等により職員数の削減に努めるとともに、今後は、平成19年3月公表の集中改革プランに沿った5年間で16人削減を実行し、平成27年度職員数170人を目標に職員数の適正化に取り組む。